



コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2016年7月29日付)

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 9,478円 |
| 純資産総額 | 463百万円 |

● 基準価額の騰落率

(2016年7月29日付)

| 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 設定来 |
|-------|-------|--------|---------|--------|
| 7.47% | 0.47% | ▲4.35% | ▲14.93% | ▲5.22% |

● ポートフォリオの構成比

| | 当月末 | 前月末比 |
|---------------------|-------|-------|
| コモンズ30ファンド (マザー) | 91.6% | ▲0.9% |
| 静岡銀行株式 | 8.3% | 0.8% |
| 現金等・その他 | 0.1% | 0.1% |
| 構成銘柄 | 31社 | 0社 |

● 分配実績

| | |
|----------------------|----|
| 第1期 (2015年12月18日) | 0円 |
|----------------------|----|

● 運用状況(コモンズ30+しずぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。7月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド91.6%、静岡銀行株式8.3%です。当ファンドの月間リターンは7.47%の上昇となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは7.55%の上昇、静岡銀行株式は7.39%の上昇となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参照ください。

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎7月のファンド月間リターンとその要因

7月のファンド月間リターンは7.55%の上昇となりました。銘柄別の月間リターン上位5銘柄は、「信越化学工業(+18.48%)」、「ディスコ(+15.56%)」、「コマツ(+14.13%)」、「デンソー(+13.11%)」、「リンナイ(+12.56%)」となりました。

◎新規買付及び全売却決定銘柄、月末の組入銘柄数

7月に決定された新規買付銘柄及び全売却銘柄はありません。したがって7月末の組入銘柄数は前月と同様に30銘柄となりました。

◎7月末の株式組入比率

7月末の株式組入比率は前月末(90.3%)から約6.1%引き上げ、96.5%となりました(残り3.5%程度は現金などを保有)。同比率の変化については下記の投資行動をご参照ください。

◎7月末の組入上位10銘柄と投資行動

7月末の組入上位10銘柄は、「デンソー」、「旭化成」、「クボタ」、「リンナイ」、「信越化学工業」、「ヤマトホールディングス」、「ホンダ」、「マキタ」、「味の素」、「カカクコム」です。主な投資行動として、6月前半に運用部長権限の下限(90%)まで引き下げた株式組入比率(6月末90.3%)は、7月上旬に95%程度(前月比+約5%)まで引き上げ、7月末まで同水準を維持しました。組入比率を引き上げた銘柄は、6月前半から組入比率を2.5%程度まで引き下げていた銘柄群(*)であり、他の組入銘柄と同水準となる3.0%程度まで引き上げました。

※(銘柄コード順)「日揮」、「資生堂」、「SMC」、「コマツ」、「ダイキン工業」、「堀場製作所」、「シスメックス」、「丸紅」、「三菱商事」、「ユニ・チャーム」、「ベネッセホールディングス」の11銘柄

◎運用体制と役割の変更

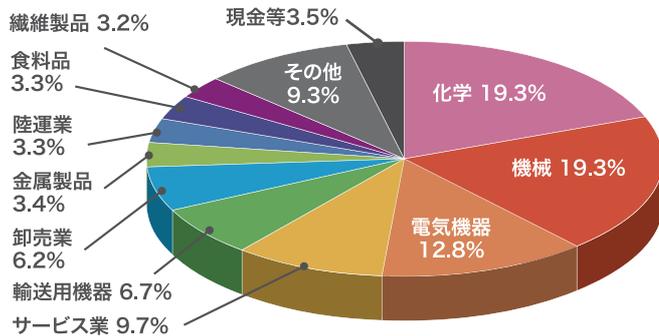
これまで運用部長・糸島が担っていた役割「組入先ウェイトのリバランス(2%~4%)」、「10%以下の現金比率の決定」を取締役社長・伊井に委譲することが7月の投資委員会で決定しました。運用部長・糸島については、今後も引き続き投資委員会のメンバーとして、新規組入・全売却銘柄を投資委員会へ提案して参ります。なお、投資委員会の決定事項や運用プロセスに変更はありません。

※詳しくはP5【運用体制と役割】をご覧ください。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

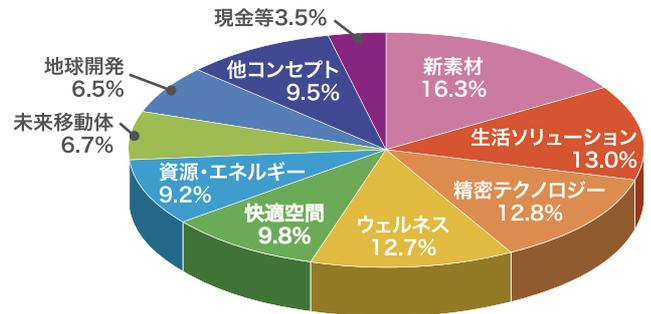
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2016年7月29日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2016年7月29日付)

| 銘柄名 [コード] | 業種 | 未来コンセプト | 概要 |
|------------------|-------|-----------|---|
| デンソー [6902] | 輸送用機器 | 未来移動体 | 1949年にトヨタ自動車から分離独立し「日本電装」として創業。自動車市場の拡大や自動車のモジュール化(複数の機能をまとめた部品にすること)などが追い風となります。今後の成長が期待される自動運転では、ソフトウェア開発に注力するとともに、技術力を武器に強みを発揮していく見込みです。 |
| 旭化成 [3407] | 化学 | 新素材 | 化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。 |
| クボタ [6326] | 機械 | 地球開発 | 長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。 |
| リンナイ [5947] | 金属製品 | 快適空間 | 給湯、暖房のトップメーカーです。製品デザインの刷新、製販一体の全員経営、経営の見える化などの経営革新の成果が現れています。創業期より海外展開を行っており、韓国、インドネシア、ブラジル、オーストラリアなどでも強いブランドを築いています。 |
| 信越化学工業 [4063] | 化学 | 新素材 | 収益に対しての執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエハなどの先端テクノロジーの双方で高いシェアを獲得しています。 |
| ヤマトHD [9064] | 陸運業 | 生活ソリューション | 「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ。大型物流拠点を構築、電子商取引業者からの需要、B2B(企業間)の物流需要の取り込みなど総合物流企業へと変貌していきます。国内の当日配送エリアは拡大の方向、アジアへの生鮮食品の輸出増加なども期待されます。 |
| ホンダ [7267] | 輸送用機器 | 未来移動体 | お客さまに自動車のみならず、夢の詰まったモビリティ(移動体)を適正価格で提供します。歴史的に難局に強く、創業から脈々と流れるチャレンジ精神で、持続可能な成長を遂げています。 |
| マキタ [6586] | 機械 | 快適空間 | リチウムイオン電池など、軽量・低振動で使用者の健康に配慮した製品開発を行い、利用時間が長いプロ向けで高いシェアを獲得しています。ものづくりだけでなく、保守メンテナンス体制も充実しており、先進国では原則3日に対応可能な修理体制を構築しています。 |
| 味の素 [2802] | 食料品 | ウェルネス | 日本の昆布だしから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。 |
| カカクコム [2371] | サービス業 | 生活ソリューション | 価格.com(購買支援サイト)、食べログ(レストランのランキングとクチコミのグルメサイト)など、利用者3,000万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、既存事業の成長をベースに多岐にわたるアプローチでの規模拡大を期待しています。 |

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック!

7月は信越化学工業の株価が18.48%と大幅に上昇しました。26日発表の同社の2016年4～6月決算が、市場コンセンサス(各社アナリストによる業績予想の平均)を大きく上回ったことが好材料となりました。決算発表翌日の27日の終値は15%と急伸しました。塩ビ・化成系や半導体シリコンなど主力事業を中心に収益が拡大し、連結営業利益は600億円、前年同期比17%増となりました。円高など外部環境が悪化するなかで、収益力の強さが目立ちました。

なお、決算電話説明会では、6月下旬の株主総会終了後に代表取締役社長に就任した齊藤恭彦氏(60歳)が初めての参加となりました。齊藤氏は、国際事業本部長や、塩ビ樹脂の主力生産拠点である米子会社・シンテック社の社長などの役職を担ってきました。説明会のなかで、新社長の抱負として、今期の決算予想を達成することが目標と強調していました。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

コモンズ30塾に「しまじろうの母」登場!

ベネッセHDは福武書店として始まり、拠点は岡山という地方都市。ドリル、参考書の販売をスタートさせましたが、一度は倒産も経験。その後、学力模試などを展開していく中で、有能な人材を地方で確保するのが難しかったこともあり、当初から女性も有能な戦力として雇用することを自然とした企業。現在の男女の平均勤続年数をみても女性の方が若干長い、これは日本企業において、未だなかなかないケースです。7月1日に開催したコモンズ30塾「投資先企業から学ぶ 女性の活躍セミナー」には、ベネッセHDより人事担当本部長 CHO 兼 ワークライフマネジメント・ダイバーシティ推進室長の岡田晴奈氏をお迎えし、お話を伺うことができました。岡田氏は大人気キャラクターの「しまじろう」のパペットの開発に関わり、中国、韓国への導入にも尽力。「しまじろうの母」と称され、ご自身、子育てもされながら第一線で活躍されてきた女性です。



岡田氏が強調されるのは、ワークライフバランスが大事なのではなく、人生において、いかに生活と仕事のバランスをマネジメントするのかということ。それを企業がどうサポートするかということ。プレゼンの中で岡田氏はこのようにおっしゃっています。「人は企業もっているリソースの中でもものすごく幅が出るもの。人が企業の命運を握っていると考えられます。人に対してどういう考え方をもつかが、企業の特徴になっていく。教育、介護、語学教育といったものが、わたしたちの事業。だからこそ、人が財産であるという考えがあるのです」。当日は10代から70代まで男女問わず、経営者から学生、産休中の方など、様々なステータスの参加者で会場は満席に。そしてテーマを「ベネッセホールディングスにみる『みえない価値』とは」としてグループワークも行い好評でした。岡田氏のワークライフマネジメントに重きをおいた考え方に接した参加者のみなさんは、そこに「ベネッセの見えない価値」を改めて見出していました。当日の様子を当社のブログで3回に分けてご紹介しています。

<http://park.common30.jp/2016/07/hd.html>

是非こちらも併せてご覧頂き、ベネッセの「見えない価値」について、当日ご参加が叶わなかったみなさまにも触れていただくと幸いです。

マーケティング部 馬越 裕子

●メディアに登場!

| 日付 | 掲載メディア | ニュース |
|-------|--------|--|
| 7月3日 | 日経新聞 | 「追加緩和・補正予算に期待 日本株回復のシナリオ」 で伊井がコメントしました |
| 7月4日 | WBS | 「日本株にブル?ベア?」のコーナーに糸島が出演しました |
| 7月5日 | 日経新聞 | 【スクランブル】「出光、M&Aリスク映す 不協和音に投資家不信感」 で糸島がコメントしました |
| 7月6日 | TV東京 | モーニングサテライト【今日の株式見通し】のコーナーに糸島が出演しました |
| 7月11日 | 日経電子版 | 「外国人投資家が日本株を再評価する日は近いか」 で伊井がコメントしました |
| 7月12日 | 日経新聞夕刊 | 【マネー底流潮流】「日本株再評価する海外勢」 で伊井がコメントしました |
| 7月14日 | BSジャパン | 日経プラス10に糸島が出演しました |
| 7月18日 | 日経電子版 | マネーブログカリスマの直言「長期運用の公的年金だからこそできること」と題し、渋澤が寄稿しました |
| 7月21日 | TV東京 | モーニングサテライト【今日の株式見通し】に糸島が出演しました |
| 7月22日 | 日経電子版 | 「円高、想定レート見直しが焦点に プロに聞く4～6月期決算のポイント」 で糸島がコメントしました |
| 7月27日 | 日経電子版 | 【国内株概況】「株、一極集中は投資家不安の裏返し 政策判断控え安心求める」 で糸島がコメントしました |
| 7月28日 | BSジャパン | 日経プラス10に糸島が出演しました |
| 7月29日 | 日経新聞 | 【スクランブル】「アベノミクス第3幕は財政・金融に手詰まり感」 で糸島がコメントしました |

●ちょっといい話

【直販投信の運用姿勢】

コモンズ投信 伊井です。

私は、年に数回、野菜や果物、お酒なども、生産者の方から直接購入していますが、その都度ワクワクします。それは、「生産者の方の顔が見えたり」、「手塩にかけて育ててきた思い」を聞けたりするからです。

投資信託においても、お手軽な費用で、直接、思いを乗せて商品をお届けすることが出来たらお客さまにも喜んでいただけるのではないかと。そんな思いから、コモンズ投信は誕生しました。さて、商品の作り手として、直販チャンネルを持つ投信会社と全てを販売会社に委託している投信会社で違いはあるのでしょうか。私は、明らかな違いが一つあると感じています。それは、「1円の重みを知っている」ということです。一般的な投信会社の運用者は、運用資産額全体を一つの塊としてとらえますが、直販投信は、多くのお客さまの顔が見えていますし、お預けいただくお金のストーリーまで理解していることも多いです。セミナーなどを通じ、この毎月の積み立ての資金は大切なお子様の教育資金、今回のまとまったご資金は大切な老後の資金などと知るわけです。

こうして、1円の重みを知っている私たちだからこそ、企業の取材においても真剣さや迫力に違いが出てくると信じています。だからこそ、運用面においては常に、よりよい体制を目指しています。この度、コモンズ30マザーファンドにおいては、一部、役割を変更いたしました。

詳しくは5ページの運用体制と役割をご確認ください。

引き続き、コモンズ30+しずぎんファンドにご期待ください!



コモンズ投信株式会社 代表取締役社長 伊井 哲朗

● 運用体制と役割(コモンズ30マザーファンド)

コモンズ投信は、「コモンズ30ファンド」と「ザ・2020ビジョン」の2つのマザーファンドを運用しています。この1年間、経験豊かなトレーディング、アナリスト担当の人材の採用を行うなど、人員の拡充を中心に一貫して運用部門の強化を図ってまいりました。コモンズ30ファンドにおける投資委員会の役割は引き続き変わりませんが、一部の役割変更を下表の通り行いました。具体的には、これまでは運用に関する権限の一部を最高運用責任者と運用部長に段階的に分けておりました。今回、より役割を明確化することで運用の更なる質的向上を目指すために最高運用責任者に権限を集約いたしました。今後も、運用部門の強化は続けて参ります。どうぞ引き続き、コモンズ30ファンドにご期待ください。

● 投資委員会の役割(変更なし)

・新規組入投資先と全売却先の決定(全員一致が原則) ・20%以上の現金比率の決定 (運用プロセスに変更はありません)

● 投資委員会メンバーと役割

| | | 変更前 | 変更後 |
|-------|---------------------------------|--|---|
| 伊井 哲朗 | 代表取締役社長 最高運用責任者 | ・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定 | ・投資委員会議長 ・経営の視点 ・20%以下の現金比率の決定 ・組入れ先ウェイトのリバランス(2~4%) |
| 渋澤 健 | 取締役会長 | ・非財務的な企業価値を含む経営の視点 | ・経営の視点 ・持続的な価値創造を支える「見えない価値」の知見 |
| 糸島 孝俊 | 運用部長 チーフポートフォリオマネージャー | ・組入れ先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定 | ・新規組入、全売却の投資委員会への提案 |
| 鎌田 聡 | 運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー | ・新規組入、全売却の投資委員会への提案 | |
| 上野 武昭 | 運用部 シニアアナリスト | | |
| 末山 仁 | 運用部 シニアアナリスト | | |

● 投資銘柄の選定プロセス



● 未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

| コモンズ流未来コンセプト10 | | | | |
|----------------|-------|----------|-------|-----------|
| 資源・エネルギー | 新素材 | 精密テクノロジー | ウェルネス | 生活ソリューション |
| 社会インフラ | 未来移動体 | 快適空間 | 地球開発 | ライフサイクル |

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

| | |
|-----------------|--|
| 購入時手数料 | 指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 運用管理費 (信託報酬) | ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| その他の費用 手数料 | 当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。 |

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込みメモ

| | |
|-------------|---|
| 信託設定日 | 2014年12月29日 |
| 信託期間 | 無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。) |
| 分配方針等 | 毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 |
| 購入単位 | 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 換金単位 | 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金申込日の翌営業日の基準価額 |
| 換金代金の支払い開始日 | 換金申込日から起算して5営業日目 |
| 申込締切時間 | 購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。 |

● 販売会社一覧

| 販売会社名称 | | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業協会 | 日本商品先物取引協会 |
|---------------|----------|---------------------|---------|---------------------|---------------------|------------|
| (株)静岡銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長 (登金)第5号 | ○ | ○ | | |
| マネックス証券(株) | 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 静銀ティーエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長 (金商)第10号 | ○ | | | |